

平成 30 年 12 月 11 日



飛島ふ頭南側コンテナターミナルにおいて 全長 400mの大型コンテナ船の受入れが可能に

飛島ふ頭南側コンテナターミナルでは、これまで全長 370m以下のコンテナ船を受入最大船型としていましたが、12月10日より世界最大となる全長 400mの大型コンテナ船の受入れが可能となりました。

全長 400mの大型コンテナ船の受入れについては、平成 30 年 1 月 26 日に開催された「名古屋港飛島ふ頭（TS1・TS2）入港大型コンテナ船の航行安全に関する調査研究（第3回特別専門委員会）」において、名古屋港西航路第15号灯浮標（以下、灯浮標）の移設を前提に審議が行われ、了承されました。

これを受け、本組合では、関係者と灯浮標の移設に関する調整を図ってきましたが、このたび移設工事を実施し、受入れが可能となりました。

世界の海上輸送量は増加しており、欧州・北米向けの基幹航路を主としてコンテナ船の大型化が進展しています。

基幹航路を中心に利用されている同コンテナターミナルにおいても、大量輸送によるスケールメリットを享受できる大型コンテナ船に対応することで、本港の利便性・国際競争力が向上することとなります。

今後も、選択される港湾を目指し、さらなる港湾機能の維持・拡充に努めていきます。

【お問い合わせ先】
名古屋港管理組合 企画調整室 企画担当
担当 桑山、村瀬
TEL 052-654-7998

【参考】

○主な大型コンテナ船

船名	主要諸元					備考
	積載 TEU	トン数 (DWT)	全長 (m)	船幅 (m)	建造年	
MSC VEGA	13,102	148,580	366	48	2012	日本において定期的に寄港している最大のコンテナ船【北米西岸航路】
MOL TRIUMPH	20,170	196,878	400	59	2017	邦船社最大のコンテナ船【欧州航路】
OOCL HONG KONG	21,413	191,317	400	59	2017	営業投入されている世界最大のコンテナ船【欧州航路】

※「数字でみる港湾 2018」「2018 年版国際輸送ハンドブック」より名古屋港管理組合作成

○飛島ふ頭南側コンテナターミナル（北西方向から）

